

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

フェローシップのタイプについて

資料4
科学技術・学術審議会
人材委員会(第90回)
令和2年12月3日

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業では、科学技術イノベーション創出の担い手となる博士後期課程学生を重点的に支援し、育成するため、以下の2タイプで実施する。

ボトムアップ型

大学の強みや地域の強みを生かしたイノベーション創出等が見込まれる幅広い分野を対象として支援(大学が分野等を提案)。

分野指定型

現在、重要な分野として政府が戦略を策定している、または策定する予定の分野(情報・AI、量子、マテリアル等)を中心に指定し、支援(産業界等における人材需給を勘案して決定)。

AI戦略2019(令和元年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議決定)

- Society5.0は、科学技術イノベーションの活用を通じて人間中心の社会を実現する壮大な構想であり、AIはその鍵となる基盤技術。実現すべき未来のビジョンを共有した上で、AIの社会実装を推進するための戦略として策定。
- AIを社会に浸透させるため、人材育成が柱の一つに位置づけられており、エキスパート人材(博士人材を想定)を2000人／年 育成する目標が掲げられている。

量子技術イノベーション戦略(令和2年1月21日 統合イノベーション戦略推進会議決定)

- 量子技術は、将来の経済・社会に変革をもたらす、安全保障の観点からも重要な基盤技術であり、米欧中では本分野の研究開発を戦略的かつ積極的に展開。我が国においても「量子技術イノベーション」を明確に位置づけ、日本の強みを活かし、重点的な研究開発や産業化・事業化を促進するための戦略として策定。
- 量子技術分野の人材層の質と厚みを飛躍的に高めるため、優れた人材の育成・確保の重要性について記載されている。

マテリアル革新力強化戦略(仮称)(令和2年度中の策定を予定)

- Society5.0の実現に向けて、バーチャルとリアルとの融合、デジタル・イノベーションを支えるマテリアル・イノベーションが不可欠という認識から、今年度中に内閣府において戦略を策定予定。
- マテリアル革新力を支える人材の育成・確保に向けた取組が盛り込まれる予定。

分野別の人材ニーズの乖離

○産業界においては、**機械、電気、材料、情報、人工知能（AI）**などの分野におけるイノベーション人材のニーズが高く、**博士人材の供給過剰も全分野に及ぶものではない**と考えられる。

⇒ **各分野における人材ニーズに対応した、博士人材の育成・確保が行われることが必要**

【平成31年度調査結果】

平成31年度（2019年度）科学技術基礎調査等委託事業「産業界と教育機関の人材の質的・量的需給マッチング状況調査」（内閣府）

